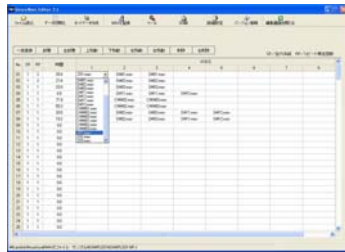




[付属品] CFカード(工業用) 256MB/ ACアダプタ

サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布]



押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生
 デイリータイマーによる指定時刻による CM 放送
 押しボタン 1~16 でスポット CM 放送できます

クライアント自身で音声・音源データの登録・変更が
 できます。

■デイリータイマー専用
 ■押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生
 +押しボタン(端子)1~16 によるスポット放送

■フォトカプラ入力(FA 仕様)
 ■ライン出力 600Ω 不平衡
 ■5W スピーカーアンプ搭載
 ■EIA1U ハーフサイズ 420W×195D×44Hmm
 ■AC100V/DC 電源-2 電源対応
 ■付属品 ACアダプタ/CF カード 1GB (工業用)
 ■サポートソフト VoiceNavi Editor

[無償 WEB 配布/付属品 CF カード内収録]

商品概要

WRX-8F3-T はデイリータイマー (1 接点出力タイプ)による指定時刻による CM 放送中、本体の押しボタン 1~16 (またはリア端子台)操作でスポット CM 放送できる押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+スポット放送再生モードを搭載したデジタルアナウンスマシンです。

電源ON時、フロントパネル押しボタンでプッシュロックした押しボタンの CH を記憶、デイリータイマー (1 接点出力タイプ)による指定時刻に放送します。また上記放送以外に押しボタン(端子台)1~16 操作でスポット再生ができます。

記憶媒体に CF カード、音源に 44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit 高音質サンプリングの WAVE ファイル、600Ω 不平衡ライン出力、5W スピーカーアンプ搭載、フォトカプラ入力を装備しています。

WAVE ファイル・CF カード採用と無償 WEB 配布のサポートソフト VoiceNavi Editor によりクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

主な使用用途

デイリータイマーやプログラムタイマ(1CH 接点出力)による指定時刻による CM 放送(または日課放送)
 並びに本体の押しボタン 1~16(またはリア端子台)操作でスポット CM 放送

- CM 放送
- 案内&注意放送

特長

- サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
 ・組立再生 8 データ max. リピート回数 5 回 max.
- 記憶媒体に CF カード採用 128/256/512MB ・1GB
- 音源に WAVE ファイル採用
- 高音質サンプリング 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- 最大録音時間 179 分 max. (44.1KHz 1GB カード時)
- フォトカプラ入力<FA 仕様>
- サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布]
- テキスト入力音声データ作成ソフト[有償販売]
- スタジオ録音・WAVE ファイル作成サービス
- 押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生
- 押しボタン(端子台)1~16 によるスポット再生
- 監視用出力端子 BUSY/ALM(CPU 異常)
- 自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット)
- 600Ω 不平衡ライン出力 RCA ジャック
- 5Wmax.8Ω スピーカー出力 M3 端子台
- EIA1U サイズ 420W×44H×195Dmm
- AC100V 電源/DC24(12V)電源対応
- 付属品 CF カード 256MB (工業用)

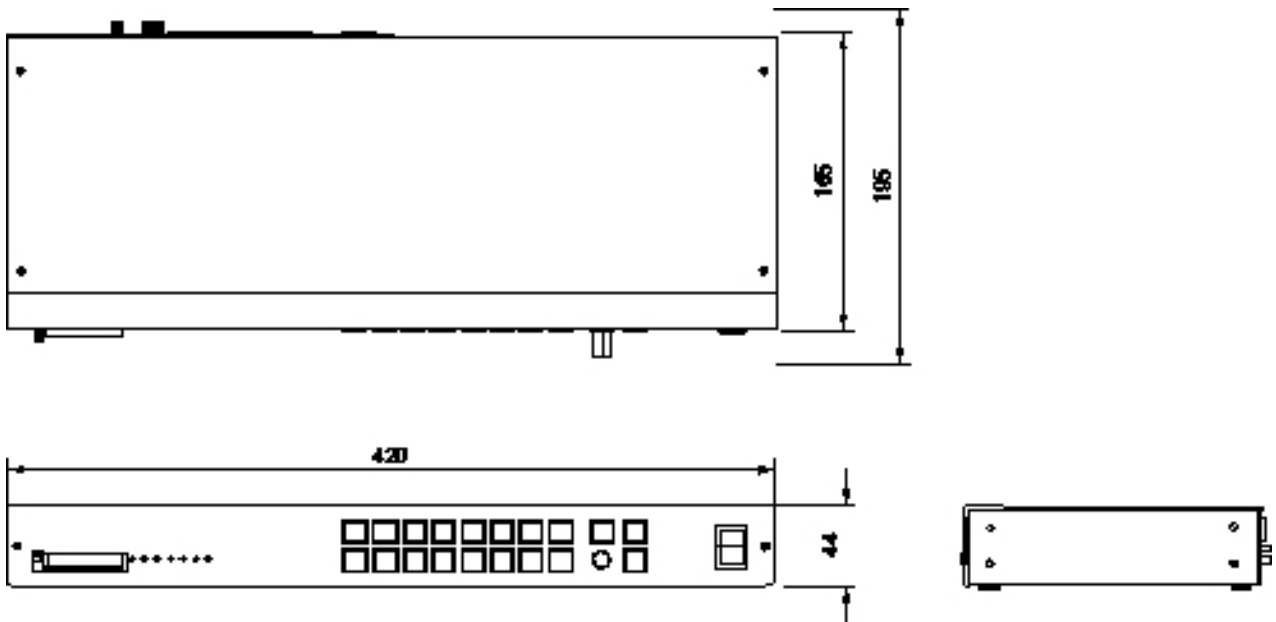
標準仕様

定格使用電圧	AC100V 50/60HZ (注) 付属品 ACアダプタ使用 DC+24V±5% または DC+12V±5% リアパネル M3 端子台		
消費電力・電流	AC100V:待機時 11Wmax. 最大時 28Wmax. (注) 付属品 ACアダプタ使用時 DC+24V:待機時 110mAmax. 最大時 280mAmax.		
寸法・重量	420W X 180D X 44H mm 約 2.6Kg EIA ラック収納対応		
仕上・塗装	スチール ブラック 焼付塗装		
使用環境	使用時:-5℃～55℃ 35%～80%RH 保存時:-10℃～70℃(但し結露なき事)		
録音・再生方式	PCM 方式 WAVE ファイル形式 サンプリングモード 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono (注)本製品は再生専用機です。原則としてダイレクト録音は使用しません。 (通常再生モードでは録音できます)		
再生帯域	300～10KHz		
音声入力	MIC 入力	9dBm(出荷時) (注) VR1 4dBm～13dBm	ミニプラグ リアパネル
	LINE 入力	-5dBm(出荷時) (注) VR2 -9dBm～0dBm	ミニプラグ リアパネル
音声出力	SP 出力	5Wmax. 8Ω M3 端子台 リアパネル	
	LINE 出力	600Ω 0dBm RCA ピンジャック (-10dBm～8dBm 調整可) [再生モード時]ラインイン・スルー機能 MIC ボタン ON	
音量調整	SP 出力	シャフトツマミ付可変ボリューム (リアパネル)	
	LINE 出力	半固定ボリューム -10dBm～8dBm (ユニット内ボード上)	
適用カード	CF カード 128/256/512MB 1GB 1 枚 max. [付属品] CF カード(工業用) 256MB 1 枚 (44 分 max. 44.1KHz16Bit Mono 時)		
音声データ登録	下記方法で音声・音源データの登録(または録音)ができます ■サポートソフトによる音声データ登録 255CHmax. サポートソフト VoiceNavi Editor 上で音声データ(WAVE ファイル)を登録後、接点端子(アドレス)に登録して WRX シリーズ用カードデータを作成。市販 USB カードアダプタ経由で CF カードにコピー。 ・適用 WAVE ファイル 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono ・プログラム登録 1 接点(アドレス)組立再生 8 データ max. リピート回数 5 回 max.		
再生制御	リアパネル端子台・押しボタンにより再生制御。 再生モードはリアパネル MODE1 スイッチで設定 ●専用再生モード (ディリタイマー用) 押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+押しボタン(端子)1～16 再生 [ディリタイマーによる自動放送] 放送 CH 選択 電源 ON 時、プッシュロックした SW(CH)を記憶 再生制御—OP 端子入力 (順番再生モード) IN:/OP 無電圧メーク/NPN オープンコレクタ M3 ネジ端子台 OUT:/BUSY /ALM オープンコレクタ出力 DC+50V 500mA M3 ネジ端子台 [押しボタン・端子台によるスポット再生] ワンショット 1 回再生 後入力優先 (注)自動放送より優先します。 IN:押しボタン 1～16 STOP /SW1-16 STOP 無電圧メーク/NPN オープンコレクタ M3 ネジ端子台 OUT:/BUSY /ALM オープンコレクタ出力 DC+50V 500mA M3 ネジ端子台		

VoiceNavi

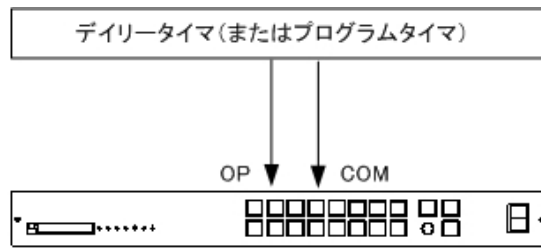
録音時間 または登録時間	CF カード容量とサンプリングによる (注)録音サンプリングモード-リアパネル DIPSW 設定		
	カード容量	サンプリングモード	
		44.1KHz 16Bit mono	22.05KHz 16Bit mono
	128MB	22 分	44 分
	256MB	44 分	88 分
	512MB	88 分	176 分
1GB	176 分	352 分	
2GB	352 分	704 分	
再生時間	サポートソフトで登録した時間またはプログラム内容による		
付属品	・AC アダプタ 1.6m コード 1 個 PSE/RoHS (IN 100V 50/60Hz OUT DC+24V 1A) ・CF カード(工業用) 256MB 1 枚 [収録データ] サンプルデータ サポートソフト VoiceNavi Editor 2J 音源ライブラリ ブザー・チャイム音など効果音・擬音他		
オプション	CF カード(工業用) 256MB RoHS WRX-LKANAGU-B01 補助金具 L 金具 RoHS 対応 WAV-BL44 補助金具 EIA ラック収納用(2 台) RoHS		
適用サポートソフト	サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布/付属品 CF カード内収録]		
その他	●遠隔監視用接点端子 BUSY(PLAY)出力 ALM(CPU 異常)出力 ●自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット) ALM 出力・保持		

外観図



■接続

デイリータイマーやプログラムタイマーの接点出力を WRX-8F3-T リアパネル端子台 OP 端子・COM と接続します。



■専用再生モードの内容

再生モード	順番再生モード 2 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+スポット放送)
モード概要	デイリータイマーやプログラムタイマー(接点出力)による指定時刻による自動放送(または日課放送)ができます。 放送したい CH は本体の押しボタン 1~16(またはリア端子台)で設定し、電源 ON 時に記憶します。 また、本体の押しボタン 1~16(またはリア端子台)操作でスポット CM 放送もできます。

●外部デイリータイマーによる自動放送 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生)

【押しボタンによる放送 CH 選択】

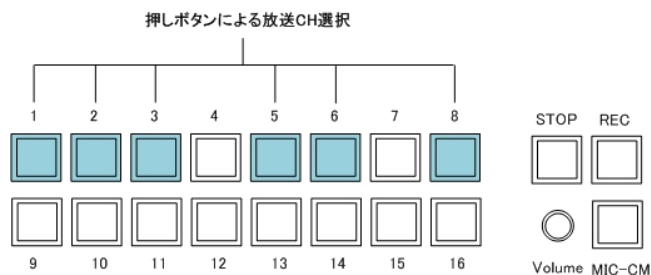
放送したいCHの押しボタンをプッシュロック(ON)します。電源SW ON 本体内のメモリ(RAM)に記憶します。電源を OFF しますとメモリクリアします。

(注)順番再生モード 1 と異なり、本モードは STOP SW では再生強制終了用でメモリクリアしません。

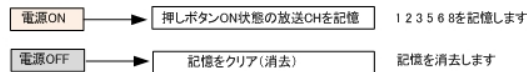
(例)

1. 下記 SW をプッシュロック

- SW1 (1CH)
- SW2 (2CH)
- SW3 (3CH)
- SW5 (5CH)
- SW6 (6CH)
- SW8 (8CH)

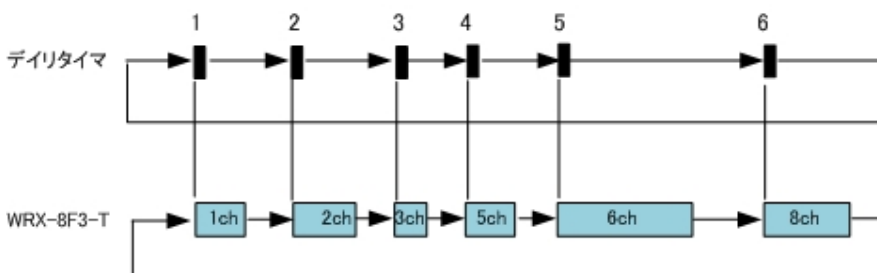


2.電源スイッチ ON



【自動放送】

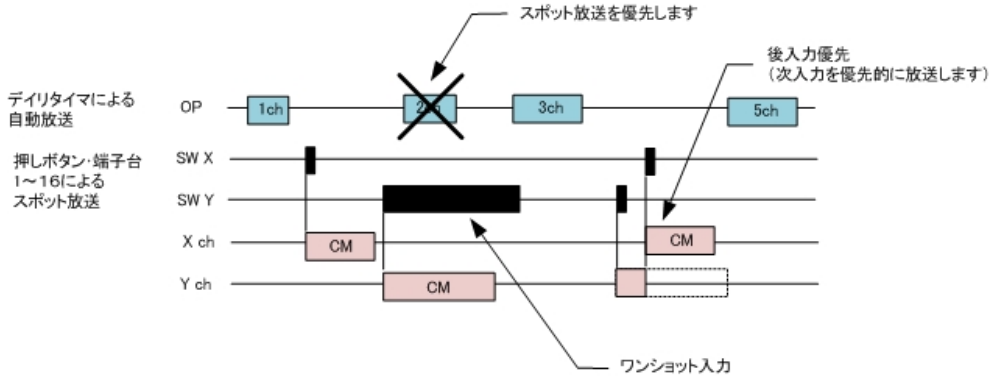
外部のデイリータイマーやプログラムタイマーの時刻指定の接点信号を本製品のOP端子へ入力する都度、押しボタンにより選択した放送CHをインクリメント(順番)再生する。選択した最後のCHを放送すると最初にCHに戻ります。



●押しボタン(または端子台)1～16によるスポット放送

スポット放送したいCHの押しボタンをONすると1回放送します。(ワンショット入力)
 スポット放送が複数の場合、後から入力したSWのCHを放送します。(後入力切替)
 STOP SWは再生強制終了です。

(注)レベル(連続)入力しても1回しか放送しません。



【スポット放送と自動放送との優先度】

スポット放送が優先します。

外部デイリータイムによる自動放送中、スポット放送の押しボタンをONすると自動放送を強制終了し、スポット放送の押しボタンに登録したCH No.のデータを放送します。

【スポット放送中、自動放送のOP端子への入力があった場合】

自動放送しないでインクリメントします。(したがって、次の OP 端子入力の場合、次の CH を再生します)

【スポット放送の SW・信号—ワンショット】

ワンショット—1回再生 (注) サポートソフト VoiceNavi Editor でプログラム登録した場合、その回数レベル(連続反転信号)を入力してもワンショットで認識します。リピート再生はしません。

【スポット放送とスポット放送同士の優先度】

後入力優先。再生途中の場合、強制終了。後から入力のあったスポット放送を優先的に放送します。

(注)プッシュロックしてある自動放送CH選択の SW に関して

外部デイリータイムによる自動放送のために、放送したいCHのSWを電源ON時にプッシュロックしています。このSWはON状態ですが放送しません。スポット放送したい場合、プッシュロックをOFFし、再度ONにしますとスポット放送します。

■WRX-8F3-T 用CFカードのカードデータ作成について

サポートソフト VoiceNavi Editor を使用して音声・音源データ(WAVE ファイル形式)を登録します。
作成方法はサポートソフト VoiceNavi Editor のユーザーズマニュアルをご参照下さい。

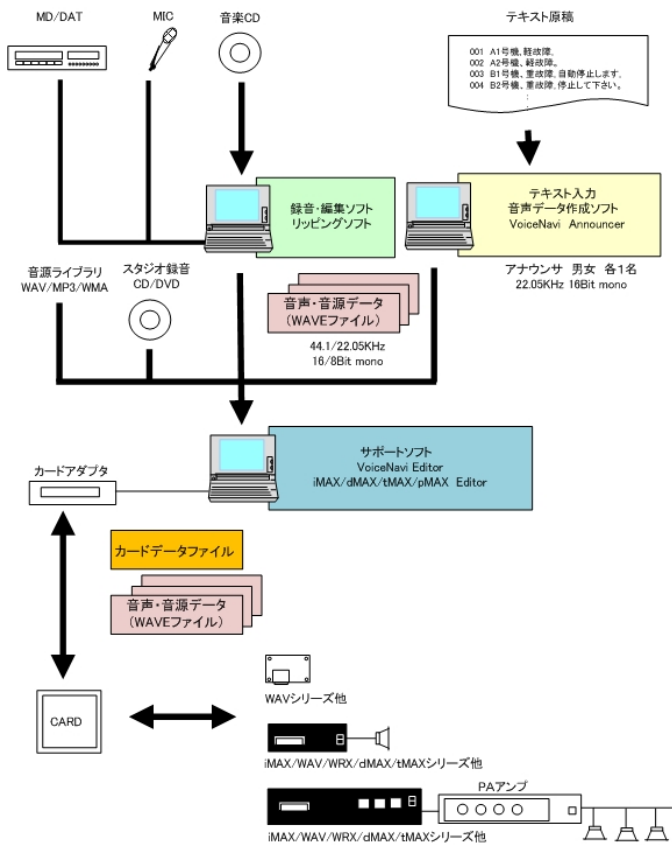
[サポートソフト VoiceNavi Editor アドレス・プログラム再生登録画面]

自動放送	スポット放送	No.	SP	R	1	2	3	4	5	6	7	8
電源 ON 時 SW1-16 ON 状態を記憶	SW1	01	1	1	****.wav							
	SW2	02	1	1	****.wav							
	SW3	03	1	1	****.wav							
	SW4	04	1	1	****.wav							
	SW5	05	1	1	****.wav							
	SW6	06	1	1	****.wav							
	SW7	07	1	1	****.wav							
	SW8	08	1	1	****.wav							
	SW9	09	1	1	****.wav							
	SW10	10	1	1	****.wav							
	SW11	11	1	1	****.wav							
	SW12	12	1	1	****.wav							
	SW13	13	1	1	****.wav							
	SW14	14	1	1	****.wav							
	SW15	15	1	1	****.wav							
	SW16	16	1	1	****.wav							

■音声・音源データの録音・登録 と WRX-8Fシリーズ用カードデータ作成

WAV-8F シリーズはクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

サポートソフトVoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ) 上で音声・音源データ(WAVEファイル)登録、接点端子・アドレスに登録します。その際、最大 8 データまでの組立再生・5 回までのリピート回数などのプログラム登録もできます。



■音源・音声データ(WAVE ファイル)の用意

1. PC 録音

PC 上でフリー・市販録音編集ソフトを使用して録音、前後の無音部をカットしてファイル保存

2. オーディオ CD の場合

フリー・市販のリッピングソフトで WAVE ファイル化

3. テキスト入力の場合

テキスト入力音声データソフトで WAVE ファイル作成。

■サポートソフトでカードデータ作成

1. 音声・音源データ(WAVE ファイル)登録

2. 接点端子・アドレスに登録

3. プログラム登録(組立再生・リピート回数)

3. カードデータ作成

■CF カードへコピー

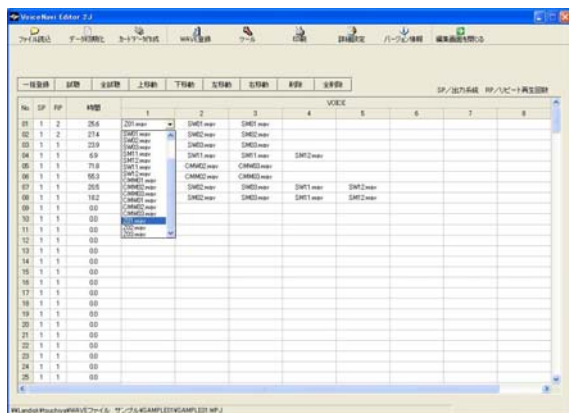
作成したカードデータを USB カードアダプタ経由でコピーします。

サポートソフト・ツール

WRX/WRX シリーズはクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

サポートソフトVoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ) 上で音声・音源データ(WAVEファイル)登録、接点端子・アドレスに登録します。その際、最大 8 データまでの組立再生・5 回までのリピート回数などのプログラム登録もできます。

■サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布 またはユニット添付のメモリーカード内に収録]



試聴しながら音声・音源データ(WAVE ファイル)を登録できます。

- ・SOUND 登録 255/1000max
- ・接点・アドレス登録 255/1000max.
- ・プログラム登録(組立再生・リピート回数)
 - 組立再生 1 接点・アドレス-8 データ max.
 - リピート回数 1 接点・アドレス-5 回 max.
- ・試聴機能(個別・一括)
- ・ファイル読み込み機能
- ・ドキュメント印刷機能

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野市中条 38 番地 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

E-mail: info@voicenavi.co.jp URL http://www.voicenavi.co.jp/